

福岡よか未来プロジェクト
令和4年度採択



福岡未来創造
プラットフォーム

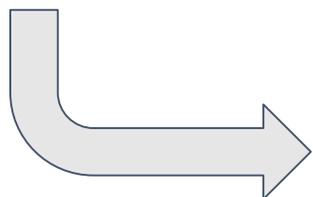
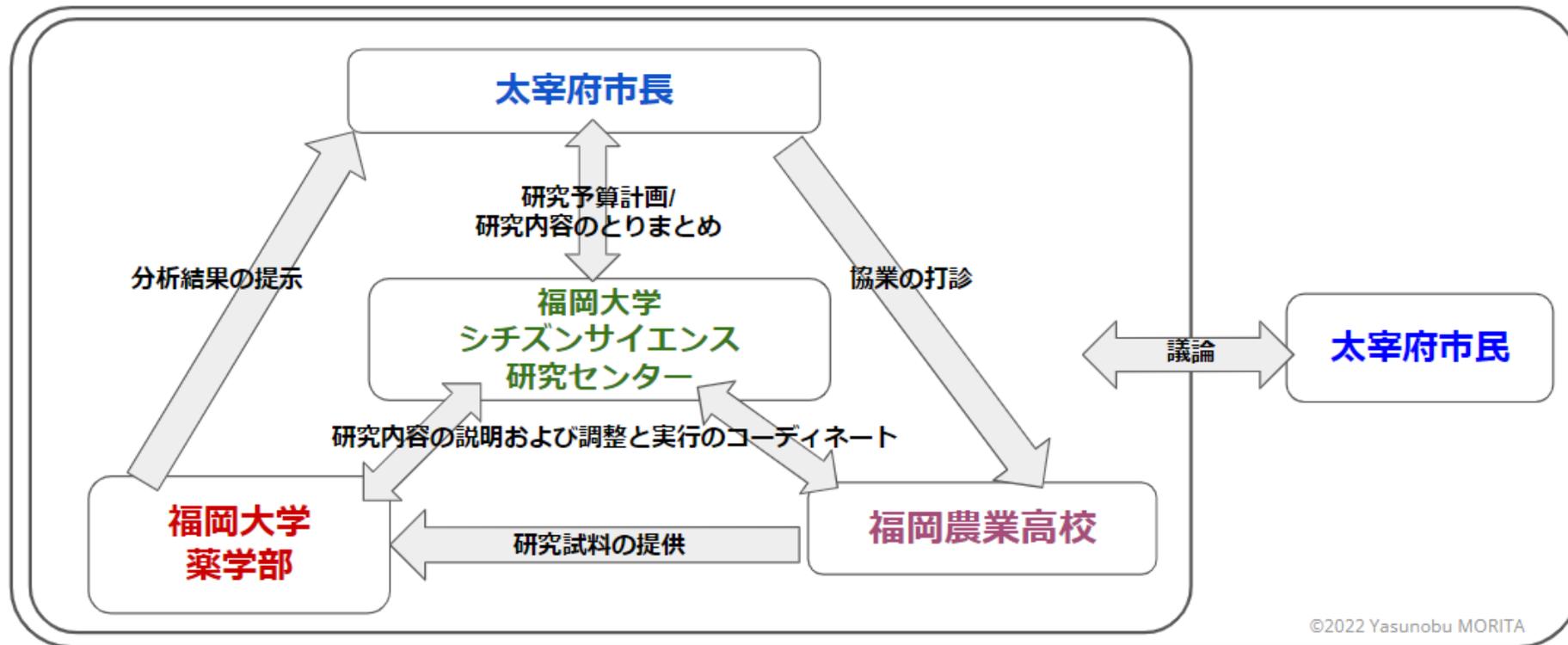
地域資源を結ぶまちなかラボ&ライブラリー
プロジェクト活動報告

本プロジェクトでは、太宰府市や福岡市など福岡都市圏をフィールドとして、「梅」をテーマとした市民による探求および研究プロジェクトの立ち上げとその支援を行う。

市民の学習と研究の場を作り、地域における知的生産機会を充実させることをビジョンとして持っている。今回のプロジェクトでは、地域資源を活かした市民研究の場を作ることで、更なる市民の交流と多様な知的生産を目指す。

主に令和発祥の都の太宰府では日本遺産の「梅」や「梅花の宴」、太宰府天満宮のご神木「飛梅」として歴史文化の象徴的な存在であり、福岡県の県花でもある「梅」を対象とした市民研究プロジェクトである。研究対象を絞ることで、様々な研究アプローチを取りつつも、共通の話題が存在することから、より市民間の交流や新たな好奇心の刺激に繋がる。市民による知的生産は、研究に対する理解を深めるだけでなく、地域に必要なイノベーションを市民自身が起こし、そして大学等の研究機関や自治体との連携もまた深めるものである。

太宰府市との梅の実プロジェクト



市長からの仮説提示や、国際ジャーナルへ掲載できる成果梅に関わる市民研究や市民ラボへの展開



薬学部の学生、農業高校の学生の双方が関与し、それぞれにとっての学習機会となった。特に薬学部の学生による研究成果は国際的なジャーナルへの掲載可能性もある。また農業高校の生徒にとっては大学の研究室を訪問することによるキャリア教育や新たな研究テーマにも繋がっていると思われた。

プロジェクト名：地域資源を結ぶまちなかラボ&ライブラリー

日本経済大学 福岡/渋谷/神戸 総合サイト | 都築学園グループ > お知らせ > 本学で第6回「子ども大学ださいふ・ふくおか」を開講

本学で第6回「子ども大学ださいふ・ふくおか」を開講

2023.03.23

地域の子どもたちが大学で専門家や教授などから、SDGsをテーマにしたアクティブラーニングな学びの授業を受けるプロジェクト第6回「子ども大学ださいふ・ふくおか」が3月19日、本学大講義室で行われました。



地域の子どもたちが学ぶ場作りへも参加し、より多様なステークホルダーへの学びについて貢献も行った。

倫理学読書会（太宰府市内のカフェ）



梅プロジェクトの取り組みなどに興味を持った太宰府市の方々から、研究的な場作りへの興味が生まれたということで、読書会を開くことに繋がった。

梅についての研究から市民の探究心や好奇心を涵養することに繋がっていった。



その他にも研究資源としての梅を増やす取り組みや、様々な公開講座に加え、講演や研究会への招待も増加しており、本プロジェクトを通じた様々な取り組みは太宰府市内や九州内にとどまらないネットワークの構築や交流の増加につながった。